

入居企業紹介 その227

SICに入居されている企業様をご紹介します。

“人と地球の未来のために貢献する企業として!!”



【入居企業プロフィール】

株式会社Quantaris Lab(クオントリス ラボ)
代表取締役 榎本 剛司(えのもと たけし)

榎本さんは千葉県出身で、この20年ほどは八王子在住です。仕事の関係で国内外問わず出張が多く、各地でその土地ならではの食文化を楽しむことがひとつの喜びです。宮崎県でご当地グルメを味わえば、47都道府県すべてを訪れることになります。なかでも、本場アメリカで味わったブライン・グレードのビーフは、日本で流通している同等グレードのものとは一線を画す美味しさで、非常に印象に残っています。自宅周辺のウォーキングが日課で、雉の鳴き声が聞こえてくるのどかな風景が気に入っています。高尾山も近く、健康維持もあって15kmほどを歩くこともしばしばとのこと。

【民間企業の研究者から、スタートアップとして起業】

大学院修了後、大手分析機器メーカーに入社し、以来長年にわたり、GC-MS(ガスクロマトグラフ質量分析計)を用いたアプリケーション開発、製品開発、ならびに市場導入に携わりました。在職中の2006年3月には、愛媛大学大学院連合農学研究科にて博士(農学)を取得。また、2015年より千葉大学予防医学センターにて客員研究員を務め、ダイオキシンやPCBなどの環境汚染物質に関する微量化学物質の分析技術の開発および、ヒトへの毒性影響評価に関する研究に従事しました。

近年は、GC-MSを用いて試料中の化学物質を網羅的に測定し、定性および定量を行う定量的ノンターゲット分析(qNTA)手法を開発。この手法は標準物質を使用せずに定量が可能であることから、アカデミアを中心に大きな注目を集めています。

2024年からは静岡県立大学 食品栄養科学科の客員研究員として、新たに開発したqNTA法を応用し、各種化学物質が人および環境に与える影響の予測・評価を可能にする技術の確立に取り組んでいます。これらの研究

開発と事業化に専念するため、勤めていた分析装置メーカーを早期退職し、2025年3月に静岡県立大学の助教である徳村先生と同大学修士の酒井さんとともに株式会社Quantaris Labを設立し、静岡大学発ベンチャー企業としての認定も受けました。



左から、酒井さん、榎本さん、徳村さん

【Quantaris Labの業務内容】

Quantaris Lab社は、定量的ノンターゲット分析(qNTA)法を用いた受託分析業務および関連機器の販売・技術サポートを展開しています。“サーキュラーエコノミー(循環経済)”は、製品や資源の価値をできるだけ長く維持し、廃棄物の発生を最小限に抑える経済システムとして、近年その重要性がますます高まっています。Quantaris Labのコア技術であるqNTA法は、再生プラスチック材に含まれる不純物を標準物質なしで網羅的かつ定量的に検出できる技術であり、応用範囲は広く、特に品質保証と環境負荷低減の両立が求められる自動車分野では、今後の国際的な規制動向と連動して、さらなる市場拡大が見込まれています。

本ビジネスモデルは、サーキュラーエコノミー領域に特化したスタートアップ支援プログラム「CIRCULAR STARTUP TOKYO」第2期において、「社会インパクト創出&事業基盤構築コース」に採択され、2025年3月には成果発表を実施しました。

【これからの目標】

長年の研究が社会実装されていくことに期待を膨らませると同時に大きな責任を感じています。まずは受託分析で経営基盤を固め、関連分析機器の販売・サポートによって市場を拡大し、ビジネスとしてQuantaris Labの技術を着実に普及させることで、サーキュラーエコノミーの実現に貢献していきます。

株式会社Quantaris Lab

SIC-1 Startup Lab.1201号室

お問合せ先 enomoto@quantaris-lab.co.jp

※ホームページ内にお問い合わせフォームがあります。

入居企業トピックス

6月の新聞掲載記事紹介(6月25日時点)

メディアに紹介された企業をご紹介します。

ご紹介する記事はSICに掲載していますので、ご覧ください。

またメディアに掲載された場合、スタッフに教えていただくと幸いです。

- | | |
|-------|---|
| 6月1日 | 株式会社PXP 相模経済新聞
—施工性や耐久性を実現— |
| 6月5日 | 株式会社PXP タウンニュースさがみはら
—相模原をエネルギー革命の出発地点に— |
| 6月12日 | 高瀬総合法律事務所 かながわ経済新聞
—顧問弁護士を探している方へ②— |
| 6月18日 | 株式会社F-Design 日刊工業新聞
—公共の場でロボと共存— |
| 6月18日 | 株式会社食機能探索研究所BABILON
日本テレビ系列「DayDay」
—日本人に不足している“油”って？脂肪酸「オメガ3」とは— |
| 6月20日 | コミュナルテクノロジーサービス株式会社、
株式会社F-Design、株式会社グリーンノート 相模経済新聞
—ロボの社会受容向上— |
| 6月23日 | 株式会社F-Design 相模経済新聞
—戸田建、ロボ産業振興— |

第10回 SIC経営者交流会 開催！

SICでは入居企業の経営者、代表者、責任者の皆さまが集まり、交流を深めていただく「SIC経営者交流会」を今年も開催します！この機会に経営者同士、SICスタッフも交えて思う存分語り合いませんか？



- | | |
|----------|------------------------------------|
| 【日時】 | 7月8日(火) [受付]17時30分 [交流会]18時~20時30分 |
| 【場所】 | 慶福楼(相模原市緑区橋本6-26-4) |
| 【対象】 | SIC入居企業の経営者、代表者、責任者の方 |
| 【会費】 | 5,000円/名 |
| 【申込期限】 | 7月4日(金)まで |
| 【お問い合わせ】 | 大谷(内線:2031) |

共有部のエアコン使用について

SIC-1 Startup Lab. および SIC-2 Creation Lab. では、リフレッシュコーナー専用のエアコンを設置しています。

こちらのエアコンは廊下全体をまかなう出力がありませんので、リフレッシュコーナーを使用する際にご利用ください。

皆さまの節電へのご協力をお願いします。



編集後記

ドラマ「科捜研の女」では様々な分析機器を駆使し、事件を解決します。中でもガスクロマトグラフィーは、物質を成分ごとに分離し含有量を知る方法として登場します。ノンターゲット分析は測る物質を特定しないため、通常は見落とす成分も漏らさないとか。巧妙化する犯罪を上回る科学の進化に、次のトリックを期待します。(佐藤)

SIC空室情報 (令和7年7月1日 現在) ※お気軽に稲垣・大谷までお問い合わせください

部 屋	空 室 数	賃料/月額 (共益費・消費税込)
SIC-1 Startup Lab.	〇スモールオフィスB(17.3㎡) 2	70,620円

最新の情報はHPをご確認ください。

SIC入居企業がロボット実証に挑戦します！



ロボットをテーマとしたビジネスの推進を多面的に支援する「さがみはらロボットビジネス協議会」。

6月10日に戸田建設株式会社及び相模原市と「ロボットフレンドリー※な環境構築に係る実証

事業に関する協定」を3者間で締結しました。

本協定では、市役所本庁舎のエレベーターとロボットをシステム連携させ、フロア間を移動させる実証事業を実施します。

この協定には、次のSIC入居企業3社が参加しています。

入居企業

コミュナルテクノロジーサービス株式会社
＜協議会において本プロジェクト幹事を務めています。＞

株式会社F-Design
＜代表の藤本社長は、「さがみはらロボットビジネス協議会」の会長です。＞

株式会社グリーンノート

※ロボットフレンドリーな環境とは、業務フローや施設環境をロボット導入しやすい環境へ変革すること。ロボットに対するバリアフリーのようなもの。

令和7年度エコアクション21相模原セミナー事前説明会のご案内

エコアクション21とは、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム(EMS)です。環境経営に関する目標や仕組みを構築し、認証を取得できる、中小規模事業者が取り組みやすい制度です。

脱炭素・SDGs等の取組のきっかけに、「エコアクション21」を認証・登録してみませんか？

令和7年度エコアクション21相模原セミナー事前説明会のご案内

【日時】 令和7年7月23日(水曜日)
14時~15時30分

【場所】 エコパークさがみはら2階学習室
(相模原市環境情報センター)

【内容】 エコアクション21地域事務局かながわより
「エコアクション21認証・登録制度のご紹介」
「エコアクション21自治体イニシアティブ・プログラム」の概要
相模原市より
「相模原市の補助事業・支援のご紹介」説明
個別相談会(希望者のみ)



詳細はこちら